

国労

蘇我運輸区分会ニュース

常識は何処にあるのか?!

わがまま・じゃないのか?

双子のベビーカー対応

前号の車椅子対応の関連で、元全日本女子のスポーツ選手が、双子を出産し双子用のベビーカーでバスに乗ろうとしたら、運転士に無視され、バス会社に苦情を言い、それがメディアに取り上げられた話を本会議で

紹介し、議論しました。

自分は大手新聞社のネットニュースで知ったのですが、テレビでも扱われたのを見たという組合員もいました。

最初に書いてしまいましたが、まずこの元スポーツ選手、ものすごい横柄な感じで「自分が困ってるんだから、周りは助けてくれて当然」という態度が気持ち悪いほど出ています。

前号でも、移動する権利、でもそれに追いつけない我が国の実態を簡単に紹介しましたが、双子用のベビーカーでバス乗車など申し訳ないけど現状では論外!かと思えます。鉄道利用も

無理でしょう。

この件の顛末は、このあとバス会社が謝罪し、担当運転士が乗せるということになったのですが、非常にモヤモヤ感が残ります。バス会社も有名人相手で、メディアも取材に来るといことでの対応であったとしたら非常に残念です。ネットでの書き込みもこの人に対する批判



の方が圧倒的に多く、対応する運転士の写真を見た専門家は「大変危険な行為、運転士も子供も大げがつながる可能性もある」と指摘しています。「こんなのが人の親になつてくんだから、日本



も終りだな」という声にも納得してしまいます。鉄道施設内でも、旅行の帰りに荷物を増やしてしまい、平気な顔で荷物運びを乗務員に頼む人もいます。

自分の荷物は自分で運ぶ・・・これが常識だ!

第2回執行委員会④

1月8日(日) 12時半～RARA



荷物が増えると、ア・ブ・ナ・イ・ヨ!・・・巻

荷物の話が出たところで関連記事も・・・。携行品の紛失、あるいは一時紛失が増えている件についても本会議で話し合いました。ご承知の通り、数年前から更に携行品の数が増え、意識してひとつひとつ確認しないと、失念しそうで恐いです。

加えて若い人たちに多いのが、胴乱の他に大きなバッグを人によっては3つも!抱えていて「荷物が増えると、紛失するリスクが高まるわな」という指摘がありました。当然、移動する時も両手がふさがっている状態であり「何かあったら、咄嗟の対応が出来ずに危ない」というこれも尤もな指摘であります。怪我と荷物は自分の責任で!

若い人たちへおじさんたちからの余計かもしれないアドバイスですが、常に片手は極力空けておいた方が良いです。片手で収まらない場合は、ショルダーバッグやリュックの使用をお勧めします。どお?

☆ 西千葉からのバスで、何度か車椅子対応を見ましたが、大変な作業です。手伝おうとしたら「危険なので」と断られました。